

平成 20 年度 第 2 回地震・火山噴火予知研究協議会 議事録（案）

日時 平成 20 年 11 月 13 日（木）10：00－12：20

場所 東京大学地震研究所会議室（1 号館）

出席者：

東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻

地震・火山噴火予知研究協議会議長 教授 松浦充宏

鹿児島大学理学部附属南西諸島弧地震火山観測所長

地震・火山噴火予知研究協議会副議長 教授 宮町宏樹

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長

教授 村上 亮

弘前大学理工学研究科附属地震火山観測所長（佐藤委員代理）

教授 小菅正裕

秋田大学工学資源学部地球資源学科

教授 西谷忠師

東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター長

教授 海野徳仁

東京工業大学火山流体研究センター草津白根火山観測所長

教授 小川康雄

東京工業大学理工学研究科地球惑星科学専攻

教授 本蔵義守

東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設長

教授 野津憲治

東京大学地震研究所長

教授 大久保修平

東京大学地震研究所地震予知研究推進センター長

教授 佐藤比呂志

東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター長

教授 金沢敏彦

東京大学地震研究所火山噴火予知研究推進センター長

教授 武尾 実

名古屋大学大学院環境学研究科附属地震・火山防災研究センター長

教授 山岡耕春

京都大学防災研究所附属地震予知研究センター長

教授 川崎一郎

京都大学防災研究所附属火山活動研究センター長

教授 大志万直人

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター

教授 鍵山恒臣

鳥取大学大学院工学研究科

准教授 塩崎一郎

高知大学理学部附属高知地震観測所長

准教授 久保篤規

九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター長

教授 清水 洋

東京大学地震研究所

教授 平田 直

東京大学地震研究所

教授 藤井敏嗣

東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会企画部長

教授 吉田真吾

東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会企画部副長

教授 中田節也

産業技術総合研究所評価部

首席評価役 富樫茂子

海洋研究開発機構

理事 末広 潔

（オブザーバー）

文部科学省研究開発局地震・防災研究課

課長補佐 梅田裕介

文部科学省研究開発局地震・防災研究課

地震火山専門官 溝上勝也

九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター

准教授 松本 聡

立命館大学工学部物理科学科

教授 小笠原宏

国土地理院地理地殻活動研究センター地殻変動研究室（飛田代理）

主任研究官 小沢慎三郎

気象庁地震火山部地震予知情報課

評価解析官 斎藤 誠

防災科学技術研究所地震研究部	副部長	小原一成
文部科学省研究開発局学術調査官（地震研究所）	准教授	酒井慎一
東京大学地震研究所	准教授	勝俣 啓
東京大学地震研究所	准教授	森田裕一
東京大学地震研究所	事務長	中塚数夫
東京大学地震研究所	副事務長	青木 稔
東京大学地震研究所	副事務長	大倉利夫
東京大学地震研究所	専門員	武田いずみ
東京大学地震研究所	係長	根岸恒夫

○平成20年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会の議事録を確認の上、承認した。

I. 報告事項

- (1) 科学技術・学術審議会の建議について
 - ・文部科学省の地震火山専門官より建議の概要説明と報告があった。
- (2) 新たな地震調査研究の推進について
 - ・文部科学省の地震・防災研究課長補佐より説明があった。
 - ・質問に対し、基本目標に対する具体的な研究計画は立案中であること、横断的に取り組むべき重要事項は地震調査研究推進本部が推進すること、などの回答があった。
- (3) 共同利用・共同研究拠点について
 - ・吉田委員より報告があった。
- (4) 次期計画拡大企画部会議（2008.9.1）
 - ・会議の議事内容について報告があった。
- (5) 平成21年度概算要求
 - ・大久保委員より、財務省には約5億円の概算要求が行われたこと、12月末頃に内示額が判明する予定であること、衛星テレメータについては施設整備費補助金として要求されたこと、などの報告があった。
- (6) 東大地震研・地震火山噴火予知研究推進センター再編、及び関連人事公募
 - ・大久保委員より報告があった。
- (7) その他
 - ・特になし

II. 審議事項

- (1) 東大地震研共同利用客員教員候補の推薦について
 - ・提案通り承認された
- (2) 流動的ポストの人事について
 - ・予知協として選考WGを作り、地震研に候補者を推薦することになった。
 - ・選考WGのメンバーとして、予知協議長（松浦）、副議長（宮町）、企画部長（吉田）、川崎委員を選出した
 - ・選考WGの主査は、副議長（宮町）とする
- (3) 地震・火山噴火予知研究協議会の運営体制等について
 - ・ネットワーク説明用ポンチ絵については、「ネットワークの形成」という文言を、「ネットワークによる研究推進体制」に変えてはどうかという提案があり、提案通り承認された。

- ・予知協組織図については、提案通り承認された。ただし、予算委員会等の構成員選考の際には、各機関のバランスを十分考慮することが確認された。
 - ・予算委員会については、今年度中は次期計画実施検討委員会（松本委員会）が代行することを承認した。
- （４）地震・火山噴火予知研究の連携と協力に関する協定の締結について
- ・質問に対し、学部・大学院生の交流とは、研究集会に参加する、合同観測に参加する等を想定しているとの説明があった。
 - ・今年度内に決済を終えて、2009年4月1日発効の予定であることを確認した。
- （５）共同利用・共同研究拠点の認定要請について
- ・大久保委員と大志万委員から提案があり、原案通り承認した。
 - ・文案作成後、電子メールで予知協構成員に通知し、意見を募ることになった。
- （６）その他
- ・特になし

以上。